

# Changing Mexico: Multidimensional analysis of the current situation of Mexico

Taku Okabe

Juan Emmanuel Delva Benavides

Ana Virginia Solis Stas

Gelacio Juan Ramón Gutiérrez Ocegueda

Edgar Gutiérrez Aceves

Salvador Carrillo Regalado

2019年3月

The Institute for Economic Studies

Seijo University

6-1-20, Seijo, Setagaya

Tokyo 157-8511, Japan



# CONTENTS

まえがき — 2018 年メキシコ大統領選を終えて	1
岡部 拓	
ECOMMERCE AND LOCAL COMMERCE ON SOCIAL NETWORKS IN MEXICO AND ITS REGULATIONS	9
Juan Emmanuel Delva Benavides	
Ana Virginia Solis Stas	
REFORMED INSTITUTIONAL STRUCTURE OF NATURAL GAS IN MEXICO	27
Gelacio Juan Ramón Gutiérrez Ocegueda	
Edgar Gutiérrez Aceves	
移民とクオリティ・オブ・ライフ： メキシコ・グアナファト州在留邦人に見られる異なる価値観	45
Salvador Carrillo Regalado	

## まえがき — 2018 年メキシコ大統領選を終えて

岡部 拓<sup>1)</sup>

2017 年に米国に新政権が誕生してからメキシコでは国内外で様々な変革があった。まずは 2017 年 8 月からの NAFTA 再交渉である。すでに多数の文献・記事等が紹介しているために詳細は避けるが、2018 年 11 月に米国、カナダならびにメキシコ間で新協定 (USMCA) の署名がなされ、2020 年の発効が見込まれている。とくに米国・メキシコ間で問題とされた自動車産業のテーマ (原産地規則、労働賃金問題等) は依然としてそのインパクトの正確な評価は難しい状況であり、新協定発効までは様々な議論が継続することが予想される<sup>2)</sup>。

他方、メキシコ国内では、これまでの与党である制度的革命党 (PRI) の国政に対する不満が深まる中、左派のロペス・オブラドール氏 (国家再生運動党: Morena) が労働党 (PT) と社会集会党 (PES) と連合「ともに歴史を (Juntos Haremos Historia)」を組織しつつ大統領選挙戦に臨み、2018 年 7 月の投票で、近年稀にみる得票率をもって圧勝し、12 月からその任に就いている。彼の目標とするところは大統領のイメージを変えること、貧困問題、汚職の根絶、治安改善、エネルギー改革ならびに教育問題、という 6 つの課題に集約できる<sup>3)</sup>。

就任前からロペス・オブラドール氏は前政権との差別化を図っている。その一つが、テスココ (Texcoco) に建設中であった新国際空港のキャンセルであっ

---

1) グアダハラ大学・経済経営学部教授。「日墨研究プログラム (PROMEJ)」(<http://promej.cucea.udg.mx/>)主幹。成城大学経済研究所客員研究員。

2) たとえば: (Okabe, 2018)。

3) 選挙活動中に発表された国家再生運動党作成の「Proyecto Alternativo de Nación 2018-2024」参照: <https://repositoriodocumental.inc.mx/xmlui/bitstream/handle/123456789/94367/CG2ex201712-22-rp-5-2-a2.pdf>。

た。これが 10 月末に明らかにされると、為替にも影響が見られ、外資導入によって進められていた建設中止による経済的損失は国内総生産の 0.5～0.7% に相当するものになる、と言われている<sup>4)</sup>。

2014 年から本格化した前政権のエネルギー改革についても、外資誘致が思うように伸びず、新規の製油所も建設されず、石油産出国にもかかわらず石油の輸入に依存せざるを得ず（オレンジを栽培・販売しつつ、オレンジジュースを購入する、という状況）、ガソリン価格は値上がりが続いている現状がある。ロペス・オブラドール氏は、メキシコ石油公社 (PEMEX) に対し 750 億ペソの投資をなし、石油事業開発を推進することを公表している<sup>5)</sup>。

なお、大統領選挙運動中に議論となったところの一つに治安問題がある。組織的犯罪を中心に、過去数年間に多数の犠牲者が出ており、7 割を超える国民が治安に不安を持っている。ロペス・オブラドール氏は憲法改正を図り、いわゆる軍隊とは思想の異なる国家警備隊を治安維持に配置する構想を持っている (Huitron, 2018) (Ramírez, 2018)。国家警備隊は 19 世紀中葉（米墨戦争期）には機能した時期もある、現行憲法において認められた組織である（例えば同憲法第 10 条）。しかしながら、ポリフィリオ・ディアス政権以降、同組織は事実上、機能を停止しており、また特別な組織法なども存在しない現状がある。この構想の詳細（憲法改正により同組織を廃止し特別法を設置するのか、あるいは既存の諸法と調和させるのか）はまだ明らかとなっていない。

ところで、上記と関連して、メキシコでは政権が変更した際、大きな改革を図るべく憲法を改正する動きが多くみられる。メキシコでは憲法改正には議会の出席議員の 3 分の 2 の同意、加えて州議会の多数の同意を要する（同憲法 135 条）とされ、国民投票は要求されていない。形式面のみに着目すれば、硬性憲法に区分されるが、長期にわたり制度的革命党の独占的支配があり、同党が連邦及び地方政治を支配していたため、メキシコでは憲法改正が容易であったといわれる（中川, 2003: p. 32）。1917 年に制定された現行憲法は、100 年を

---

4) “Cancelación de aeropuerto en Texcoco costará 0.7% del PIB, estima asesor de AMLO”, in *Expansión* (15 de noviembre, 2018). Available at: <https://expansion.mx/nacional/2018/11/15/cancelacion-de-aeropuerto-en-texcoco-costara-0-7-del-pib-estima-asesor-de-amlo>

5) “AMLO aplicará aumento de 75 mil mdp al presupuesto de Pemex en 2019; será gracias al plan de austeridad, dice”, in *Animal Político* (9 de diciembre, 2018). Available at: <https://www.animalpolitico.com/2018/12/amlo-austeridad-pemex-inversion-refinerias/>

経過して 700 箇所にも及ぶ改正が行われ、136 からなる法条のうち改正を受けていないのは 22 条のみとなっている。

では、ロペス・オブラドール氏が大統領に就任し、加えて国会議員の改選があった 2018 年現在、憲法改正へ向けた政局はどうなっているであろうか。

メキシコ憲法上、立法府の議会は 500 名の下院議員 (Diputados) と 128 名の上院議員 (Senadores) から構成され (同法第 50, 53 ならびに 56 条参照)、それぞれ任期が 3 年と 6 年である。

2018 年に行われた大統領選を含む国会議員の選挙を通じて、現在の国会構成は図 1 の通りになっている。

通常法律を改正するためには、議会における絶対過半数で足りる (憲法第 72 条)。しかしながら、憲法を改正するためには、先述した通り、議会の出席議員の 3 分の 2 の同意が必要である。具体的な数値は図 1 に示したとおりである。

これによれば、法律改正について、ロペス・オブラドール氏の属する国家再生運動党が率いる連合「ともに歴史を」は、上院・下院ともに過半数を占めており (下院では国家再生運動党単独で) 問題がない。とはいえ憲法改正となると、同連合をもってしても議会における 3 分の 2 を占める状態にない (それぞれ 16 票, 19 票届いていない)。

憲法改正には、まず連合「ともに歴史を」がどの政党が連立を組むかが焦点

図 1 メキシコ国会の政党別構成図

政党	上院	下院	連合	上院での 連合の有 する議決 権総数	下院での 連合の有 する議決 権総数	上院での 憲法改正 に必要 な議決 権数	下院での 憲法改正 に必要 な議決 権数
国家再生運動党 (Morena)	59	256	ともに歴史を	70	314	86	333
労働党 (PT)	6	28					
社会集会党 (PES)	5	30					
国民行動党 (PAN)	24	78	前進するメキシ コのために	36	126		
市民運動党 (MC)	7	28					
民主革命党 (PRD)	5	20					
制度的革命党 (PRI)	15	47	すべての者よメ キシコのために	21	58		
緑の党 (PVEM)	6	11					
無所属	1	2					
計	128	500					

出所：メキシコ上院・下院のホームページの資料より筆者作成

となる。想定されるシナリオは、上院においては、制度的革命党率いる連合「すべての者よメキシコのために (Todos por México)」との結託である。ロペス・オブラドールの政治活動は 70 年代の制度的革命党入党に始まったため、このシナリオには具体性がある。なお、下院においては様々なシナリオが考えられる。不足する 19 票の議決権を満たす 4 政党と連立をなす可能性がある。とはいえ、政治的思想の違いさらに大統領選挙活動中の論争からも、連合「前進するメキシコのために (Por México al Frente)」を率いる国民行動党との単独の連立の可能性は低いとみられている。

上記は、憲法改正のための「国会におけるシナリオ」である。実際の憲法改正には「州議会における多数の同意」（先述）をも考慮しなければならない。

メキシコは 32 の連邦区・州から構成されている。2018 年 7 月の大統領・国会議員選挙と併せて、9 つの州で改選が行われた。現時点の最大与党である国家再生運動党は 2014 年に結成されたもので、政党としての大規模な選挙はこれが初めてであった。今回の 9 つの州知事選で国家再生運動党の代表者が首長となった州は 5 つであった（図 2 参照）。

直近の場合、2018 年末に首長の任期の終わる州が 1 つ、そして 2019 年のそれが 1 つある（ともに国民行動党からの首長）。その後、2021 年に 13 州での改選が行われる予定で、そのうち現在 8 つの州の首長が制度的革命党出身である。

国政において国家再生運動党は最大与党ではあるものの、地方ではその勢力はまだ絶対的とはいえないのが現状である。これは先述した通り、同党の結成が 2014 年のためである。憲法改正を行うための「州議会の多数の同意」という条件を鑑みると、同党は別の政党との連立を余儀なくされる。ここでは、連

図 2 メキシコの首長の出身政党別連邦区の分布

政党	州
制度的革命党 (PRI)	12
国民行動党 (PAN)	11
国家再生運動党 (Morena)	5
民主革命党 (PRD)	2
市民運動党 (MC)	1
無所属	1
計	32

出所：メキシコ選挙管理委員会ホームページの資料より筆者作成

邦議会同様、制度的革命党および新大統領が党首だった時期もある民主革命党のとの結託が見込まれよう。もちろん議員レベルでは、国家再生運動党出身議員が多数を占める州も 7 州程度見受けられる。

とすれば、国家再生運動党が中長期にわたり地方・国政を掌握すべく、今後 4 年間は慎重な政局運営が必要といえる。「メキシコ人は勝つ政党を支援する」ともいわれるなか、同党がひとたびほころびや公約違反のような動きをみせれば、野党への追い風となりうる。

このような現状において、新しいメキシコと日本の関係はどのようなであろうか。日墨 EPA を契機として日本とメキシコの関係は、様々な文献が指摘するように、密接化してきている。2016 年には、両国の交流史上はじめて在メキシコ日系企業（外務省定義による）が 1000 社を超え、また在墨日本人も 1 万人を超えるものとなった。かくして、経済面のみならず社会文化面でも二国間交流は活発になっている (Carrillo y Okabe, 2018)。

ロペス・オブラドール氏は、選挙後の 8 月に日本を含むアジア 10 か国と会合を持った。そこで、市場の多様化と投資の促進を図る旨を公表している (Zavala, 2018)。なかでも、ベラクルース州南部とオアハカ州を通じて太平洋と大西洋との陸上距離が一番狭くなっている地域を繋ぐ幹線道路建設計画（南部のイツモ・デ・テウアンテペック (Istmo de Tehuantepec) 地域開発計画）の利便性を強調した。これをもって、パナマ運河を通じた海洋運送ではなく、さらに柔軟な陸上運送インフラを提供し、同地域の発展を含む、アジア・南米・ヨーロッパとの交易基盤にすることを企図している。この地域には、昨年から天然ガスダクトの建設も図られてきている。

この会合の 2 週間前には、ロペス・オブラドール氏と河野外相とが個別会談を設けており、対メキシコ日本投資の促進と、日墨 EPA を通じた貿易収支の是正を含め、交易関係のさらなる拡大につき話し合いがもたれている (Brito, 2018)。

左派の新大統領の誕生や USMCA により日墨関係の先行きに懸念材料があるものの、日墨 EPA 発効から着実に構築されてきているメキシコとの関係を今後も継続するうえで、様々な角度から日墨関係を考察することは、これまでに以上に必要となる。

本研究報告では、かかる学際的視点から、テーマの異なる 3 つの研究を紹

介する。まず、「**Ecommerce and local commerce on social networks in Mexico and its regulations**」(Juan Emmanuel Delva Benavides / Ana Virginia Solis Stas) である。今日のインターネットの有用性・重要性は言うまでもないが、これが機能するためには政府及びその規制が適切でなければならない。同報告では、インターネット上での販売活動をその一例として、そこでは、地方自治体レベルでの規制機能が十分働いておらず、これが消費者ひいては正規の商業活動にも影響を及ぼしている事情を紹介しつつ、現時点での制度の枠組みを分析する。

つづく「**Reformed institutional structure of natural gas in Mexico**」(Gelacio Juan Ramón Gutiérrez Ocegueda / Edgar Gutiérrez Aceves) は、2013 年に実施されたメキシコのエネルギー改革のうち、天然ガスに関する規制の枠組みを紹介する。前政権が行ったこの改革は、石油、電気ならびに天然ガスからなるエネルギー部門につき、競争的価格をもってその供給を保障する生産体制を向上させ、もって投資、経済ならびに雇用を成長させることを目的としたものであった。2013 年に実施された制度改革を通じて、同部門に対する新しい規制、管轄当局、市場にて活動する経済団体が登場した事情を紹介し、メキシコの天然ガスの制度的枠組みの今後の展望を指摘する。新政権による同改革、とくに石油部門についての評価については先きに述べたとおりであり、今後さらなる政策が図られることになろう。この意味で、この論文において述べられる点は、中長期的な現政権の政策と比較をなすうえで重要な基準となる。

最後は「移民とクオリティ・オブ・ライフ：メキシコ・グアナファト州在留邦人にみられる異なる価値観」(Salvador Carrillo Regalado) である。先述した通り、対メキシコ日本投資が増加するなか、それに伴う形で現地の日系企業に勤務する日本人さらにはその家族が増加してきている。本論文では、グアナファト州に在留する日本人につき、移動手段、教育、健康、インフラ、さらには習慣など、様々な要因を基準としてその生活の質を分析するものである。一般的に言えば、日本からの出向者、あるいは現地にて雇用された（能力のある）日本人は、メキシコ人と比較して収入が高いものではあるが、これが在留日本人が考える生活の質に直結するものとは断定できない。このような視点から、同調査は彼らのメキシコにおける生活の質を分析し、その結果は企業等の民間部門のみならず、受入先となるメキシコの公的部門の政策決定にも資する極めて興味深いものである。



各論文の著者は、メキシコ・グアダハラ大学経済経営学部の「日墨研究プログラム」の構成員および共同研究者である。同大学と成城大学経済研究所は、2015 年より共同研究促進のための学術協定を締結しており、隔年、メキシコあるいは日本において共同セミナーを開催し、積極的な意見交換および研究活動を続けてきている。本書が、メキシコが引き続き変化を遂げており、それが多岐にわたる分野でみられることを明らかにし、そして今後も日本との協調関係を促進していくべく読者の関心を惹起するものであれば幸いである。

#### 参考文献

- Brito, Omar (2018) “AMLO se reunió con canciller de Japón en casa de transición”, in *Milenio* (17 de agosto, 2018). Available at:  
<http://www.milenio.com/politica/amlo-reune-canciller-japon-casa-transicion>
- Carrillo R., S. y Okabe, T. (coord.) (2018) *Inversión extranjera directa y empresas japonesas en México: implicaciones regionales, económicas y legales*, México: Juan Pablos Editor.
- Huitron, Isaías (2018) “La Guardia Nacional que quiere AMLO ya se usó en el pasado”, in *Nación321* (15 de noviembre, 2018). Available at:  
<http://www.nacion321.com/elecciones/la-guardia-nacional-que-quiere-amlo-ya-se-uso-en-el-pasado>
- Okabe, Taku (2018) “USMCA: ¿comienzo de decadencia o prosperidad del vínculo México-Japón?”, en *Gaceta Universitaria*, Año 18, Número 991 (29 de octubre de 2018), México: Universidad de Guadalajara
- Ramírez, Julio (2018) “La Guardia Nacional de AMLO se distancia de otros modelos e implica riesgos”, in *ADN Político* (23 de noviembre, 2018). Available at:  
<https://adnpolitico.com/mexico/2018/11/23/la-guardia-nacional-de-amlo-se-distancia-de-otros-modelos-e-implica-riesgos>
- Zavala, Misaël (2018) “AMLO voltea a ver a países de Asia”, in *El Universal* (31 de agosto, 2018). Available at: <http://www.eluniversal.com.mx/nacion/politica/amlo-voltea-ver-paises-de-asia>
- 中川和彦 (2003) 『メキシコ合衆国憲法概要』, 日本, 参議院憲法調査会事務局。

#### その他の参考ウェブサイト

- “AMLO aplicará aumento de 75 mil mdp al presupuesto de Pemex en 2019; será gracias al plan de austeridad, dice”, in *Animal Político* (9 de diciembre, 2018):  
<https://www.animalpolitico.com/2018/12/amlo-austeridad-pemex-inversion-refinerias/>
- “Cancelación de aeropuerto en Texcoco costará 0.7% del PIB, estima asesor de AMLO”, in *Expansión* (15 de noviembre, 2018):  
<https://expansion.mx/nacional/2018/11/15/cancelacion-de-aeropuerto-en-texcoco-costara-0-7-del-pib-estima-asesor-de-amlo>
- 国家再生運動党 (Movimiento Regeneración Nacional) *Proyecto Alternativo de Nación 2018-2024*:  
<https://repositoriodocumental.ine.mx/xmlui/bitstream/handle/123456789/94367/CG2ex201712-22-rp-5-2-a2.pdf>

メキシコ選挙管理委員会 (Instituto Nacional Electoral):

<https://www.ine.mx/actores-politicos/partidos-politicos-locales/>

メキシコ上院 (Senado de México):

[http://www.senado.gob.mx/64/senadores/por\\_grupo\\_parlamentario](http://www.senado.gob.mx/64/senadores/por_grupo_parlamentario)

メキシコ下院 (Diputado de México): [http://sitl.diputados.gob.mx/LXIV\\_leg/info\\_diputados.php](http://sitl.diputados.gob.mx/LXIV_leg/info_diputados.php)